

日興・CS世界高配当株式ファンド (資産成長型)

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第10期(決算日2018年11月19日)

作成対象期間(2017年11月21日～2018年11月19日)

第10期末(2018年11月19日)	
基準価額	24,821円
純資産総額	1,025百万円
第10期	
騰落率	△ 0.6%
分配金(税込み)合計	20円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興・CS世界高配当株式ファンド(資産成長型)」は、2018年11月19日に第10期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界各国の株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

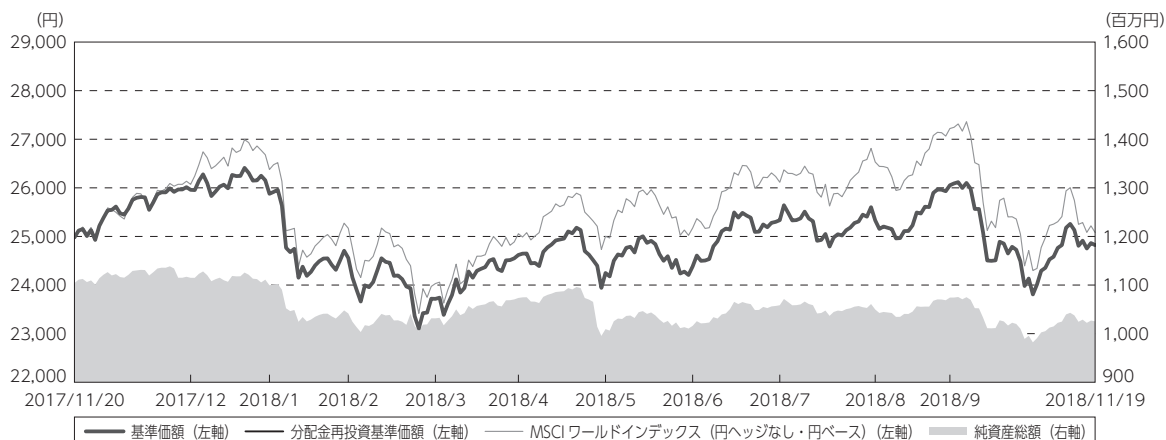
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年11月21日～2018年11月19日)



期首：24,979円

期末：24,821円（既払分配金（税込み）：20円）

騰落率：△ 0.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は、期首（2017年11月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCIワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国の株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国の税制改革法案の成立。
- ・世界的に好調な企業の決算発表。

<値下がり要因>

- ・世界的な関税交渉の難航などに起因するマーケットセンチメントの悪化。
- ・世界的な金利正常化への不透明性や欧州や中東などの地政学的リスク。

1万口当たりの費用明細

(2017年11月21日～2018年11月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	296 (159) (121) (16)	1.185 (0.635) (0.485) (0.065)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	5 (5)	0.019 (0.019)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.004 (0.004)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	29 (7) (1) (20) (0)	0.116 (0.029) (0.005) (0.081) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	331	1.324	
期中の平均基準価額は、24,979円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

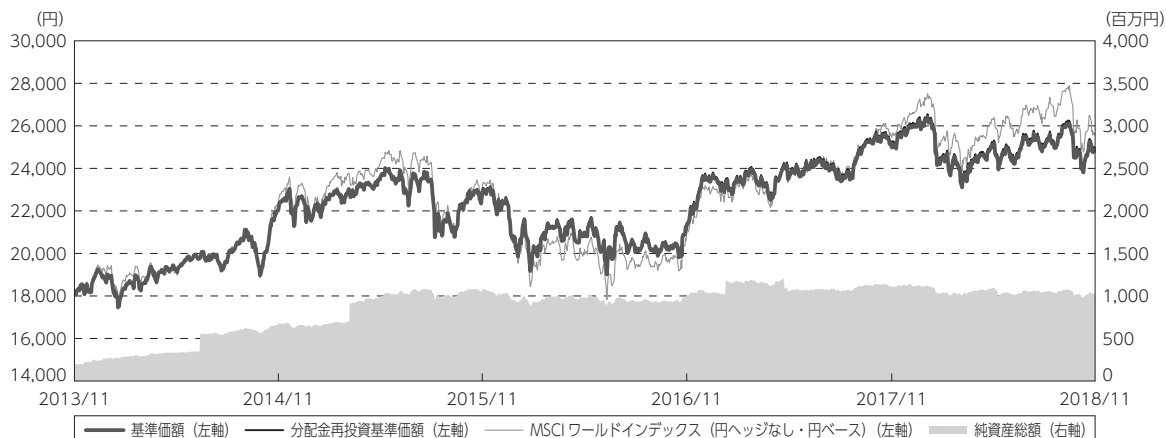
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年11月18日～2018年11月19日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は、2013年11月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年11月18日 決算日	2014年11月18日 決算日	2015年11月18日 決算日	2016年11月18日 決算日	2017年11月20日 決算日	2018年11月19日 決算日
基準価額 (円)	18,151	22,026	22,777	21,343	24,979	24,821
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	40	30	30	20	20
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	21.6	3.5	△ 6.2	17.1	△ 0.6
MSCIワールドインデックス (円ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%)	—	22.9	3.4	△ 9.0	21.3	0.4
純資産総額 (百万円)	209	662	1,071	1,003	1,104	1,025

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) MSCIワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。
参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

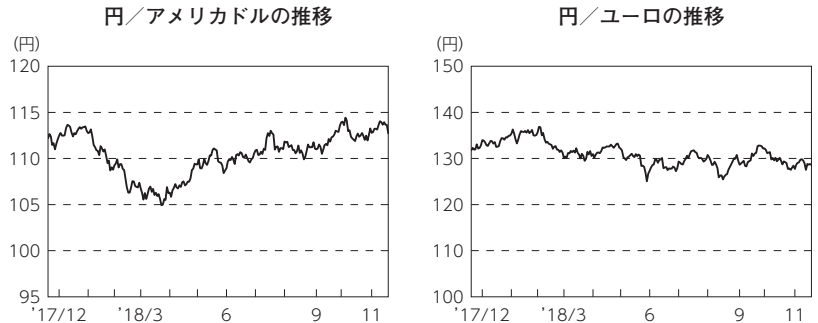
(2017年11月21日～2018年11月19日)

(株式市況)

当期間を通じて、先進国株式市場は一進一退の展開となりました。期間の初めは、米国の税制改革法案の成立から米国経済への楽観的な見方が広がり株価は上昇しましたが、その後は米国長期金利の上昇や米中の貿易摩擦問題が生じ株価は下落しました。期間の半ば以降は、主に好調な米国経済の恩恵から上昇基調となりました。米国とメキシコの北米自由貿易協定（NAFTA）の再交渉により一時貿易摩擦の懸念が後退したことも株価の上昇要因となりました。その後、2018年10月には世界経済への強気の見方が修正を余儀なくされ、株高局面に調整が入りました。きっかけは米国長期金利の上昇と捉えられますが、その後、貿易戦争による米中双方の経済への悪影響や、欧州や中東などの情勢にも市場の警戒感が広がり、世界同時株安の様相を呈しました。11月上旬の株価には反発の動きが見られましたが、市場心理には不安定さが残りました。

(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2017年11月21日～2018年11月19日)

(当ファンド)

当ファンドは、「世界高配当株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(世界高配当株式マザーファンド)

世界の株式市場を対象に、配当利回りが高く、増配や株価上昇が見込める優良銘柄に投資を行ないました。これまでと同様に地域別では、魅力的な配当が見込めるアジア太平洋地域（日本を除く）と欧州を引き続き積極姿勢とし、控えめな配当の北米と日本を消極姿勢としました。

業種配分は、過去一年間において概ね、配当利回りの高い通信サービス、エネルギーおよび公益といったセクターを積極姿勢とし、配当利回りが低い資本財と情報テクノロジーといったセクターを消極姿勢としました。

銘柄別では、一般消費財サービス、公益、情報テクノロジー、エネルギー、金融、生活必需品、ヘルスケアといった、ほぼ全セクターにおいて銘柄入替を含めたポジション調整を行ないました。

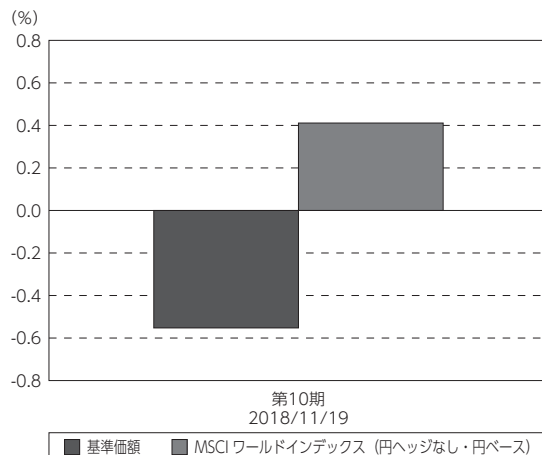
当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年11月21日～2018年11月19日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCIワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

(2017年11月21日～2018年11月19日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第10期
	2017年11月21日～ 2018年11月19日
当期分配金	20
(対基準価額比率)	0.081%
当期の収益	20
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14,821

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「世界高配当株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（世界高配当株式マザーファンド）

当ファンドはグローバル株式に対する前向きな見方を維持します。世界の上半期の経済成長率は、健全な水準を維持しています。主要国・地域のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は堅調とみられます。中国の経済成長率は、一連の政策が経済活動を押し上げるとみています。財政刺激は米国経済に引き続き追い風となっています。貿易摩擦は依然として下振れリスクとなっているものの、今のところ経済成長に対する直接的な影響は小さいと見込まれます。

このような環境下、株式運用の利回りは、一定の幅の上下がありつつも中期的にポジティブとみているため、トータルリターンの中で配当収益は重要な役割を担うと考えています。さらに、各国中央銀行は金利引き上げを緩やかなものにとどめるとみられ、多くの業種で配当利回りは社債利回りより魅力的で、高配当銘柄への良好な投資環境は続くと予想しています。

これまでと同様に、配当成長率の高い高配当銘柄などに着目し、増配や株価上昇の可能性が高い優良な銘柄に投資を行なう方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2017年11月21日から2018年11月19日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

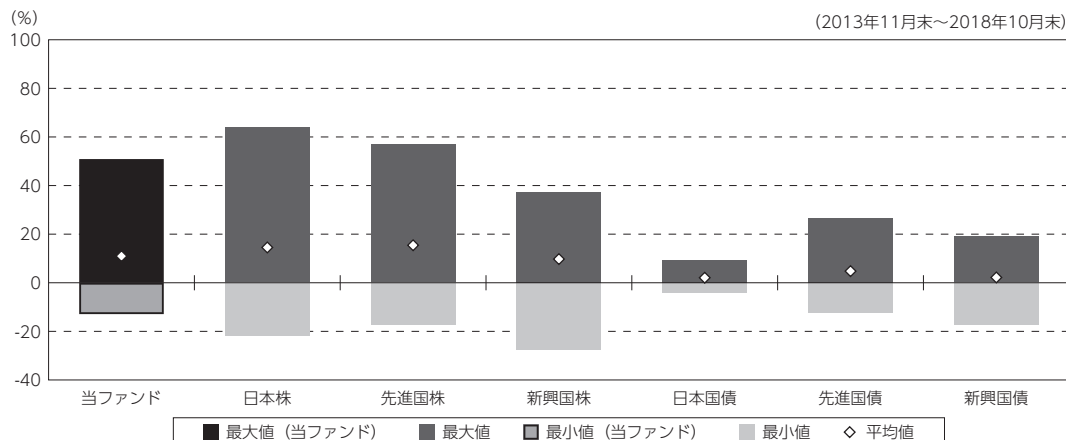
当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2018年8月18日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。（付表）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2008年11月12日から2023年11月20日までです。	
運用方針	主として「世界高配当株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興・CS世界高配当株式ファンド （資産成長型）	「世界高配当株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	世界高配当株式マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	世界各国の配当利回りの高い企業の株式を中心に、同時に株式益回りの高い企業など、配当余力の高いと考える企業の株式に分散投資を行なうことで、安定的な配当収入を得ながら信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各銘柄毎の配当利回り水準、株式益回り水準などの配当余力に加えて、各国市況動向や、各銘柄毎のファンダメンタル、割安性、流動性などの分析も行ない投資を行ないます。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	50.9	64.2	57.1	37.2	9.3	26.6	19.3
最小値	△ 12.9	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	11.0	14.5	15.4	9.7	2.1	4.8	2.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年11月から2018年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCIエマーシング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●MSCIワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）

「MSCIワールドインデックス」は、「MSCI Inc.」が発表している、世界の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の（円ヘッジなし・円ベース）とは、現地通貨ベースの指数を円換算したものです。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

●MSCIエマーシング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年11月19日現在)

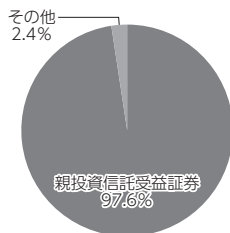
○組入上位ファンド

銘柄名	第10期末
世界高配当株式マザーファンド	97.6%
組入銘柄数	1銘柄

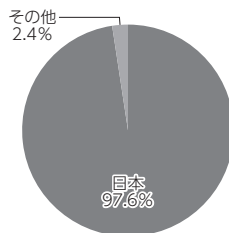
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

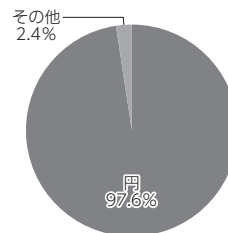
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

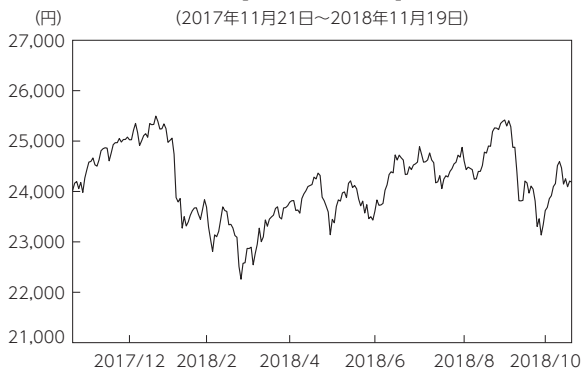
項目	第10期末
	2018年11月19日
純資産総額	1,025,371,951円
受益権総口数	413,102,784口
1万口当たり基準価額	24,821円

(注) 期中における追加設定元本額は35,164,554円、同解約元本額は64,084,465円です。

組入上位ファンドの概要

世界高配当株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年11月21日～2018年11月19日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	5 (5)	0.020 (0.020)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	1 (1)	0.004 (0.004)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	7 (7) (0)	0.030 (0.030) (0.000)
合計	13	0.054

期中の平均基準価額は、24,166円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

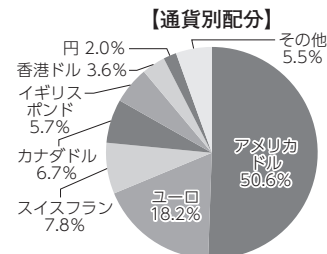
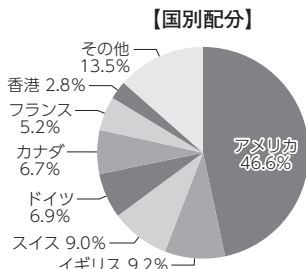
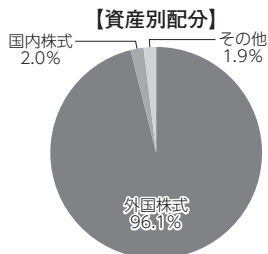
(2018年11月19日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	PFIZER INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	3.8%
2	ZURICH INSURANCE GROUP AG	保険	スイスフラン	スイス	3.8%
3	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	エネルギー	ユーロ	イギリス	3.5%
4	PAYCHEX INC	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.5%
5	AT&T INC	電気通信サービス	アメリカドル	アメリカ	2.5%
6	MUENCHENER RUECKVER AG-REG	保険	ユーロ	ドイツ	2.4%
7	MERCK & CO. INC.	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	2.3%
8	CHEVRON CORP	エネルギー	アメリカドル	アメリカ	2.2%
9	MCDONALD'S CORP	消費者サービス	アメリカドル	アメリカ	2.0%
10	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	食品・飲料・タバコ	アメリカドル	アメリカ	2.0%
	組入銘柄数		81銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。